



令和元年度 岡田小学校 協働型学校評価アンケート結果について

「協働型学校評価アンケート」に御協力いただき、ありがとうございました。今回のアンケートの集約結果をお知らせいたします。【児童数180名、実家庭138中128家庭、地域の方14名、教職員14名】

また、過日、2月13日（木）に学校評議員会ならびに学校関係者評価委員会を開催し、委員の方に協働型学校目標の成果と課題について説明し、「学校」、「家庭」、「地域」の三者共通の取組について意見交換をいたしましたので、主な御意見を併せて御紹介します。

これらの結果を受け、日々の教育活動の改善に生かしていくとともに、次年度の教育計画の参考とさせていただきます。また、引き続き、「学校」、「家庭」、「地域」の三者が協力して、子供たちを励まし、良い方向に導いていきたいと考えていますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

(Aはい B:どちらかというとはい C:どちらかというといえ D:いいえ)

%

(1)	質問項目：明るいあいさつをしている。	A	B	C	D
児童	友達や先生、ボランティアの方々に進んで明るいあいさつをするようにしている。	67.4	30.9	0.6	1.1
保護者	岡田小学校の子供達は、友達や先生、ボランティアの方々に進んで「明るいあいさつ」をするようにしていましたか。	41.5	54.5	4.1	0
地域	岡田小学校の子供達は、友達や先生、ボランティアの方々に進んで「明るいあいさつ」をするようにしていましたか。	35.7	64.3	0	0
教職員	明るいあいさつと相手の気持ちを考えた言葉遣いができる子供「明るいあいさつ」	28.0	54.0	18.0	0

家庭でも地域でも児童は基本的な挨拶を身に付け、積極的に挨拶を行っていることが分かります。児童・家庭・地域のいずれもA、Bを合わせると95%を超えており、岡田小学校全体として元気のよい明るい挨拶ができていると評価しています。学校全体で「めざせ あいさつ日本一！」という生活目標があり、具体的に挨拶の仕方や意義について指導してきたことや、登下校時に地域の方が必ず声を掛けてくださったことで、進んで挨拶をするという習慣が自然に身に付いたと思われまます。今年度は新たに、父母教師会の「エンヤコラプロジェクト」の一環で高砂中学校合同「挨拶運動」の日に保護者も挨拶運動を一緒に行ったことも、挨拶の大切さを意識するきっかけとなったと思われまます。このように、学校、家庭、地域の三者で取り組んできた成果が数値として出ています。来年度も三者で重点的に取り組む目標として実施していくこととします。

挨拶に関する御意見等

- ・自ら挨拶をするようにしようと話しました。
- ・近所の人にも自分から挨拶をしようと話しました。
- ・家でも学校でも地域でもまず挨拶から。
- ・岡田の子供たちは進んで挨拶するので朝から気持ちよく笑顔にしてもらえています。
- ・学校の行事などで行くといつも積極的に挨拶をしてくれるので、とても気持ちがいいです。
- ・学校や道で会う子供たちは進んで挨拶してくれます。また、困っている友達をみんなで応援し、助けようとする姿が素晴らしいと思いました。
- ・数年前より挨拶してくれる子が減ったように思います。家でもきちんと挨拶するように声を掛けようと思います。

%

(2) -1	質問項目：相手の気持ちを考えた言葉遣いをしている。	A	B	C	D
児童	「ふわふわ言葉」を使うようにしている。	53.7	40.6	4.6	1.1
保護者	岡田小学校の児童達は、「ふわふわ言葉」を使うようにしていましたか。	17.9	68.3	13.8	0
地域	岡田小学校の児童達は、「ふわふわ言葉」を使うようにしていましたか。	21.4	78.6	0	0
教職員	明るいあいさつと相手の気持ちを考えた言葉遣いができる子供「言葉遣い」	0	100	0	0

【ふわふわ言葉】：相手を認める言葉等 例え「いつもありがとう」「すごいね」

%

(2) -2	質問項目：相手の気持ちを考えた言葉遣いをしている。	A	B	C	D
児童	「ちくちく言葉」を使わないようにしている。	62.9	30.9	5.7	0.6
保護者	岡田小学校の児童達は、「ちくちく言葉」をつかわないようにしていましたか。	13.8	62.6	23.6	0
地域	岡田小学校の児童達は、「ちくちく言葉」を使わないようにしていましたか。	42.9	57.1	0	0

【ちくちく言葉】：相手を傷つける言葉等

言葉遣いについては、「ふわふわ言葉」を使用し、「ちくちく言葉」を使わないようにしていると回答している児童がA、Bを合わせると95%近くを超えています。高砂中学校区のいじめ防止サミットで作成した標語「交わそうふわふわ言葉・増やそう明るい笑顔・なくそういじめ」を提示し、学校でも指導を続けていることから、言葉遣いについて常に意識していることが分かります。ただ、保護者の中には場面や相手に応じた使い方について、課題があると感じているようです。岡田小学校は6年間同じ仲間と過ごすため、学年の子供同士の仲が良く、男の子も女の子も一緒になって遊んでいるのがとても良いという御意見も寄せられておりますが、時々、言葉の意味を深く考えずに使ったり、大人と話す時の言葉遣いが身に付いていなかったりした場面もありましたので、その都度指導してきました。今後も、お互いに思いやる気持ちを育みながら、言葉遣いについて具体的に指導していきます。

言葉遣いに関する御意見等

- ・家庭では、平日頃より、言葉遣いや相手に対して言い方は厳しく指導しております。少しでも変な言葉の時は、すぐにその場で注意しています。
- ・言葉遣いは家庭から覚えるものです。親が見本となるような言葉遣いを示すこと。間違っ覚えてきた言葉があれば正して、一緒に考えたり言い直したりして身につけさせていくようにしています。
- ・使ってはいけない言葉があることを知り、皆が使っていても「自分は使わない」ことを判断できるように教えていくことが大事だと思います。
- ・自分が人にされて「嫌だなあ」と思った事や思うような事は人にしてはいけないし、言うてはいけない。
- ・ふわふわ言葉をもっと広めてほしい。
- ・ちくちく言葉を言いそうになったら、言葉にする前に相手の気持ちを考えてみる。

%

	質問項目：学校のことについて	A	B	C	D
児童	学校は楽しい。	65.1	30.9	3.4	0.66

AとBを合わせると、96%の児童が「学校は楽しい」と答えています。この結果から、周りの人と協力しながら安心して学校生活を送っていることが分かります。これは、1年間通して活動してきた、たてわり活動や児童会活動等で、児童が主体性を持って活動してきた良さが出ていると考えられます。6年生が良きリーダーとなり、上級生が下級生の面倒をよく見て、他人を思いやり学校を良くするためのアイデアもたくさん考えることができました。(いじめ0を目指した「OKADA-KIZUNAプロジェクト2019」、風の子コンサート、[④](#)しらない・[⑤](#)わがない・[⑥](#)ぎがわ通行の約束、倉敷市立岡田小学校へのメッセージ)

「交通ボランティア」「ここにこボランティア」「保護者ボランティア」「小1生活・学習サポーター」をはじめとする地域の方々が、学校内外の様々な場面で子供達を温かく見守っていることも、楽しく学校生活を送れる要因の一つだと思われまます。今後も一人一人の力を伸ばしながら、成長させたいと思います。